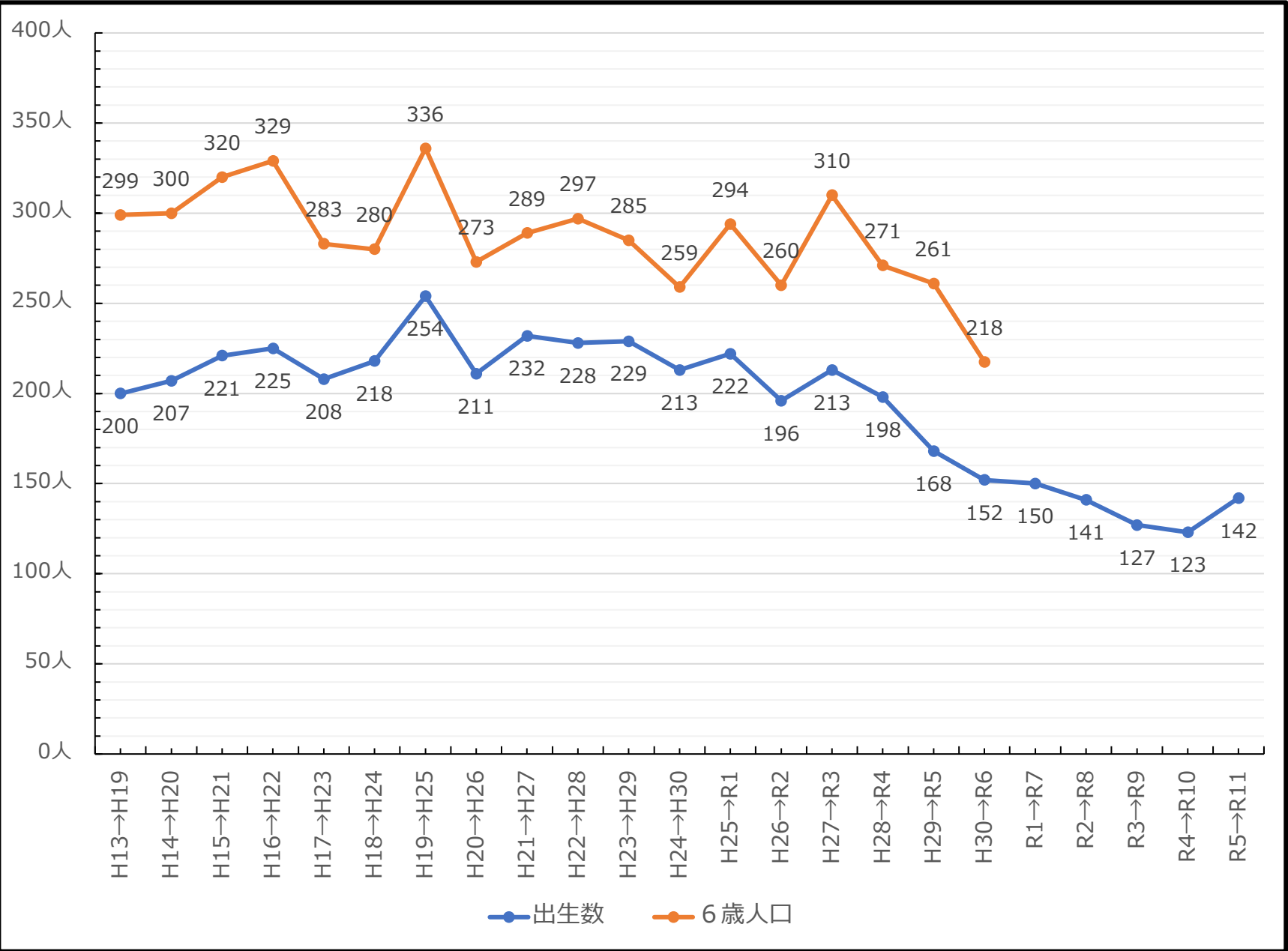


①出生数と6歳人口の比較

区分	暦年	出生数	6歳人口	増加数
			翌年1/1現在	
実績	H13→H19	200	299	99
	H14→H20	207	300	93
	H15→H21	221	320	99
	H16→H22	225	329	104
	H17→H23	208	283	75
	H18→H24	218	280	62
	H19→H25	254	336	82
	H20→H26	211	273	62
	H21→H27	232	289	57
	H22→H28	228	297	69
	H23→H29	229	285	56
	H24→H30	213	259	46
	H25→R1	222	294	72
	H26→R2	196	260	64
	H27→R3	213	310	97
	H28→R4	198	271	73
	H29→R5	168	261	93
	H30→R6	152		
	R1→R7	150		
	R2→R8	141		
	R3→R9	127		
	R4→R10	123		
	R5→R11	142		



①出生数と6歳人口の比較

1年間で生まれた子の人口と、その子が6歳になった際の人口を比較すると、出生数の増減の動きと概ね連動して、6歳人口も増減していることがわかる。

今後もこの動きが進むのであれば、出生数が減少し出していることから、6歳人口も減少していくと予測できる。

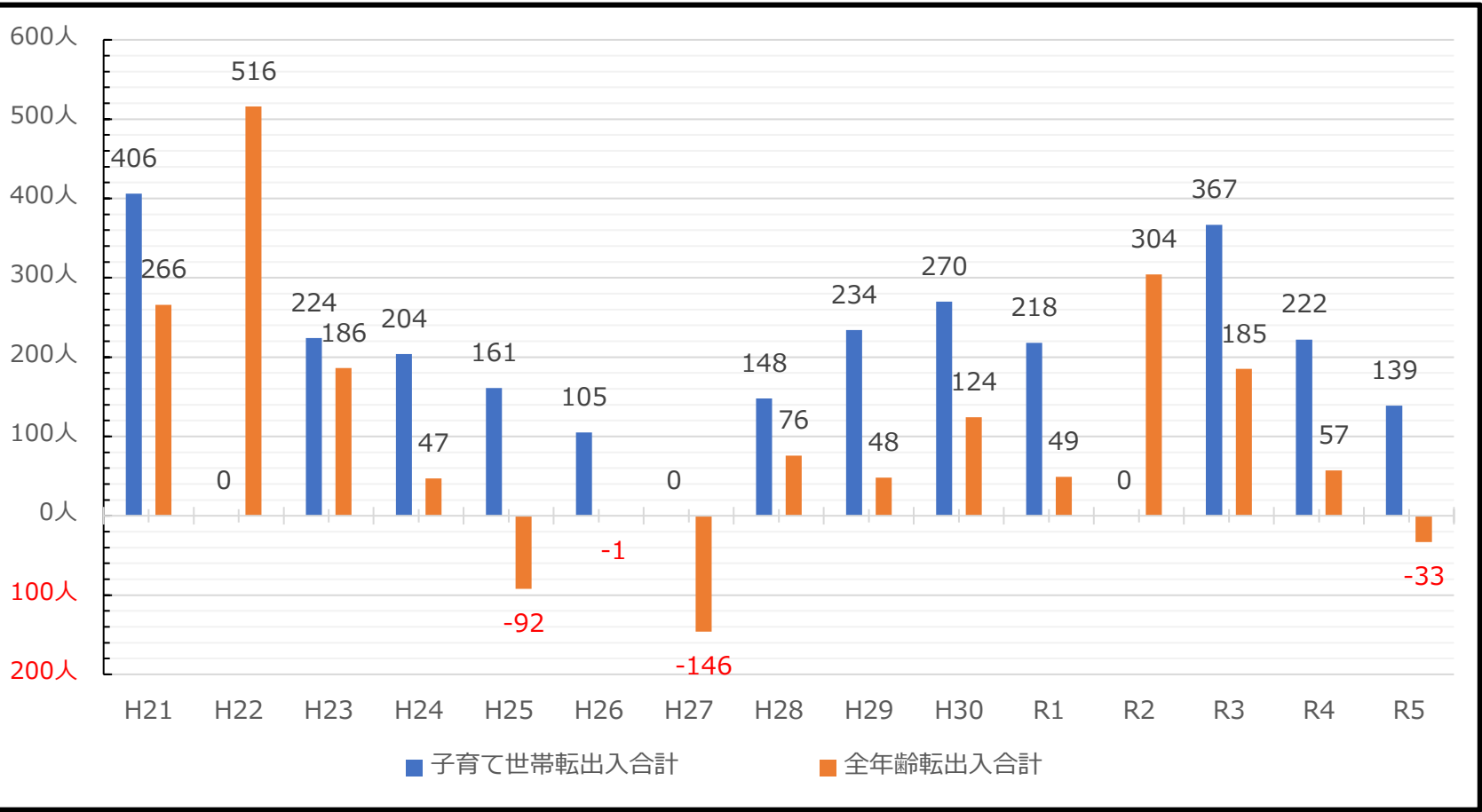
②子育て世帯の社会増減（転出入の実績）

親世代を30～45歳と仮定し、その親世代の転出入にともなって子ども世代の転出入があるとする、本町の社会増減は主に子育て世帯の転出入によって、概ね社会増という結果をもたらしていたことがわかる。

しかし、R3からR5にかけて、子育て世帯の転出入数が落ち込んでおり、この状況が続くのであれば、自然減だけでなく社会減によって更なる人口減少局面に入ってしまう可能性がある。

②子育て世帯の社会増減（転出入の実績）

暦年	子ども世代転出入数				親世代転出入数				子育て世帯転出入合計	全年齢転出入合計
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	小計	30～34歳	35～39歳	40～45歳	小計		
H21	117	66	13	196	82	84	44	210	406	266
H22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	516
H23	83	16	-1	98	41	57	28	126	224	186
H24	72	13	15	100	61	28	15	104	204	47
H25	51	0	1	52	55	44	10	109	161	-92
H26	57	8	-1	64	-7	28	20	41	105	-1
H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-146
H28	49	18	-1	66	43	33	6	82	148	76
H29	62	46	-15	93	34	55	52	141	234	48
H30	66	38	13	117	10	85	58	153	270	124
R1	59	35	18	112	0	68	38	106	218	49
R2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	304
R3	105	59	8	172	40	86	69	195	367	185
R4	52	57	-7	102	12	69	39	120	222	57
R5	38	34	-6	66	-8	46	35	73	139	-33



「神奈川県年齢別人口統計調査」より

※H22、H27、R2は国勢調査実施年次のため、公表データなし。